



2020年 2月13日
第106号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



2月12日 JR 東労組第46回定期中央委員会報告集会を開催しました。第46回定期中央委員会では、水戸・東京・八王子地本の委員・傍聴が全員ボイコットしたこと、「JR 東労組東京地本を守る会」「組合員のための JR 東労組を守る八王子の会」の仲間が傍聴参加したこと、各委員からの発言内容などが報告されました。また、集会に参加した組合員と共に、山口執行委員長あいさつや横浜地本選出の委員の発言の読み合わせも行いました。

その後の意見交換の際には、9名の仲間から発言がありました。水戸・東京・八王子地本の仲間の現状を心配し連帯していく決意と、新生 JR 東労組運動をつくり出す決意が語られました。



- 職場でパワハラを受けたこともある。しかし、先輩たちが築いてきた道を理解しているし、裏切ることにはできない。東労組組合員として水戸・東京・八王子地本の仲間を支援していきたい。
- お世話になった人が制裁対象になり非常に残念。水戸・東京・八王子地本以外の地本もそうならないようにどうして分裂してしまったのか解明してほしい。
- 新労組は国鉄改革の否定と東労組の組織破壊のための分裂組合だと思ふ。改めて東労組の原点に戻る運動が必要だ。
- 分裂しても幸せになれない。一組合員として相手また自分と向き合い運動をつくっていく。
- 分裂策動は営業、工務職場を置き去りにしている。18春闘のスト議論の時と全く同じ。水戸・東京・八王子地本の組合員の中にも東労組で頑張る決意をしている仲間がいるので、守っていく。
- 水戸・東京・八王子地本には本部が3地本に矢印を向けていると思っている仲間が多い。横のつながりで真実を伝え、悩んでいる仲間を東労組に取り戻していきたい。

**ひとりの組合員も置き去りにせず、水戸・東京・八王子地本で奮闘する仲間と共に
全組合員で新生 JR 東労組運動をつくり出そう！**